★★★令和４年度★★

小坪小だより

5月号

横浜市立小坪小学校　　　校長　高田　桂太郎
横浜市港南区港南台４－１１－１　電話　８３２－０６１７

★★★

可能性を信じる

校長　　髙田　桂太郎

ツツジやサツキの花が咲き、気温も上がって、温かくさわやかな季節になりました。

子どもたちは、新しいクラスでの学校生活に少しずつ慣れ、友達と校庭で元気に遊ぶ姿が見られます。保護者や地域の皆様には、子どもたちの健康観察や登下校の見守りなど安全・安心な学校生活のためにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。お陰様で令和４年度の小坪小学校は、落ち着いた雰囲気でスタートをすることができました。

さて、世の中に目を向けますと、戦争、事故、感染症対策と気が重くなるニュースが連日報道され、子どもたちも不安になっているのではないかと心配になります。

そのような中、ある新聞の投稿欄で 9 歳の男の子の次のような声を目にしました。
「ウクライナで、ぼくより小さな女の子が、病院に運ばれていくのをニュースで見て悲しくなった。前にぼくは、悪口を言われたのがくやしくて、かっとなって友達にけがをさせたことがあった。それを知ったお母さんは泣いていた。おかあさんは『そんなの全然強くない。本当に強いのは困っている人を助けられる人だ』と言っていた。ぼくは、困っている人を助けられる本当の強い人間になりたい。」

私が、戦争のニュースを見て途方に暮れているとき、9 歳の子どもが、遠く外国で起きていることに胸を痛め、さらに自分の未来の姿にまで思いを馳せていたと思うと、感動で胸がいっぱいになりました。同時に、元気な我が子の子育てに悩むお母さんが、それでも自分の子どもの可能性を信じ、一生懸命に語りかけている姿が目に浮かびました。きっと忍耐強く子どもと向き合ってきたに違いありません。その愛情の深さ、信じる強さに、私はさらに感動しました。子どもの成長には時間がかかり、時には思い通りに進まないことがあります。しかし、こちらが焦らず信じて関われば、思いは必ず通じ、子どもたちは、確実に成長します。やはり、子どもたちは、未来の大いなる希望です。

５月は連休もあり、ご家庭ではお子様と過ごす時間が増えることと思います。是非、お子様といろいろなお話をして、思いを伝え合ってみてはいかがでしょうか。

今年 40 周年を迎える小坪小学校。私たち教職員一同も、子どもたちに寄り添い、ともに進み、時には背中を押して、子どもたちが自分の可能性にたくさん気付いていけるよう教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。